

★★★★★ カンボジア・ニュースレター 第10号 ★★★★★

2018年6月～2018年7月の報告；KCCの霊的成長

★★ 御祈りの応え：御言と御霊による開眼 ★★

「何事でも自己中心や虚栄からすることなく、へりくだって、互いに人を自分よりもすぐれた者と思いなさい。自分のことだけではなく、他の人のことも顧みなさい。... キリストは神の御姿である方なのに、神のあり方を捨てられないとは考えず、ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられました。人としての性質をもって現れ、自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架の死にまでも従われました。」（ピリピ2:3～8） 《Vandy師の証しから》

2018年5月～6月の2週間の滞在を終えて帰国する飛行場に夜遅くでしたが、ダビデ君も見送りに！マーク宣教師が記念のワンショット。（私の顔、少々疲れ気味？イエ、御心配なく！年季のせいデショ。）



フィリピンからのクリスチャン御一家（私の右横3人）も同時期に引き上げるのにわかに寂しくなった6月でした。でも寂しがっている暇もないVandy先生、宣

教車も与えられ、12月には本部となる3つの建物が完成予定、にと働きは愈々、助走の段階に入りました。

6月のメインプログラムは各地に散って戦っている伝道者方が集められてパスターズ・ミーティング（伝道者の集まり）が開かれ、足並みをそろえるひと時が持たれました。

Greg宣教師の通訳をするVandy先生

出席できた伝道者のメンバー



第一日目にVandy先生による向こう5年間のプランとチャレンジの集会がもたれました。スカイプでの交信により、このミーティングの様子を報告されましたが、主がVandy先生の霊的な面に次々と押し寄せてくるように感じる問題、課題をとおして自立の教会を建て上げる為に必要な霊的面での基本的整えを与えて下さっておられる事に御名をあがめつつ、このニュースレターのハイライトとして御報告出来ることに心から御名を崇めつつ、なお続いて御祈りをお願いしたいと思いながら認めております。



このミーティングの第一夜、彼は向こう5年間の中にKCCの下にある教会がしっかりと自分の信仰による自立の体制を目指してゆくヴィジョンを打ち出し、出席者一同は心一つに燃える心をもって祈りを捧げて終わったそうです。ところが2日目に遅れて出席してこられたPoleak(ポレアッ)先生が集会中に立ち上り「KCCが自立するまでバックアップしてくれる団体なり教会なりを見つけて支えて貰うべき！」と真逆の演説(?)を始め、伝道者達の燃えていたスピリットが消されてしまうという出来事が起こり、Vandy先生にとっても一致の為の戦いに祈って

下さい、と訴えてられました。勿論彼はこのPoleak先生とも時間をかけて彼のスピリットに主のタッチを祈りつつ話し合いを続けるつもりですが、祈って下さい、と依頼してられました。



左から2番目の方がPoleak先生です。アチコチから献金を募って土地を拡大し、鶏や山羊等を飼育し、教会活動も大きくなりました。Vandy先生は彼と個人的な交わりをもって徐々に霊的な開眼へと導きたいと思っているので、天来の知恵が与えられ、彼との霊的一致がみられますようお祈り下さいと頼んでられました。どうぞオスワルド・チェンバースでしたか、キンロー先生でしたか、「御霊のみが人の心を傷つけずに過ちを示す事ができなさる御方です」と教えて居られますように御霊が彼の霊的な開眼の為に御業を成して下さいようお祈り下さい。実はこの後に更なる主の御業がVandy師の心になされました事を知らせてられました。PTL(主を讃美します!)



この牧師会が終わった後、Vandy師からスカイプでの呼び出しがあり文明の利器を通して語り合いと祈り合う時をもちました。彼が伝えたい、と私を呼び出した理由こそ、主が彼の生涯を一步、深く聖潔の恵に導いて下さった事の証と報告でした。

ピリピ書2章から神様からの霊的な開眼とお取扱いを頂き、キリストに倣う者とされたならば1節～4節の心になる事であり、愛の心をもって心を合せ、思いを一つにして基督の喜びを満たして、特に3節の「何事も利己的な思いや虚栄からするのではなく」、「謙って、互いに人を自分より優れた者と思いなさい。夫々、自分のことだけでなく、他の人のことも顧みなさい」との御言により主にRebuke(叱られた)と証され、自己中心が示されて主に全面的に明け渡しの時をもったと証しして下さいました。

そして、その後、ダビデ君の夕方の運動(これも訓練の一つ)に連れて出ていった時、一人の婦人から携帯電話を貸して欲しいと頼まれて、自分の携帯はチャージしないと自分が必要な時に困るので躊躇した時、主から「自己中心を捨てたのでしょうか？」と囁かれて従った結果、その婦人との会話で嘗て若い時に教会に行っておられた事、今は未信者の御主人との結婚で教会には行っていないという事が分り、個人伝道の機会が与えられたそうです。教会にももう一度戻りたい、と仰って電話とメルアドの交換がなされた、という経験から、自己中心を捨てる事によって主が力強く働き出て下さるという貴重な経験を証しして下さいました。小さな火が点火されました！尚、御霊の火が消されないように、彼の救霊の働きが祝されますよう、引き続き御祈りをもってカンボジアの宣教の働きにお加わり下されば感謝です。7月29日、大統領選挙が終了。結果は将来は中国の配下に？を案じる方向が強くなりましたので政治のためにも御祈り下さい。テス夫人の働き場の変換のためにも引き続き御祈り下さい。感謝